

※今月のみ受注の書目です。

海外事情 (アメリカ) / ノンフィクション (アメリカ)



なぜ書くのか  平積み
パレスチナ、セネガル、南部を歩く

(2025年7月上旬刊行予定)

タナハシ・コーツ (作家・ジャーナリスト・ハーワード大学教授) [著]
池田年穂 (慶應義塾大学名誉教授) [訳]

四六判並製 / 218頁 税込予価 2,750円
ISBN978-4-7664-3040-0 C0098

👉 ココに注目!

- ・言葉には、世界を変える力がある。
- ・アフリカ系アメリカ人を代表する知識人タナハシ・コーツが語る「書くこと」の意義。
- ・世界の不条理に言葉で立ち向かう全ての人へのメッセージ!

アフリカ系アメリカ人を代表する知識人タナハシ・コーツが、奴隷制の記憶が色濃く残るアメリカ南部、植民地支配の影が横たわるセネガル、分断の代名詞ともいえるパレスチナの地を旅しながら、そこに生きる人々の声に耳を傾け、「書くこと」の力と責任を深く問う。

対象 一般 (アメリカ社会・文学に関心のある層) / タナハシ・コーツのファン

類書 [海外事情] 会田弘継『それでもなぜ、トランプは支持されるのか』(東洋経済新報社)
[ノンフィクション] デイヴィッド・フィンケル『アメリカの悪夢』(亜紀書房)

【営業部からのおすすめポイント】

弊社から刊行されるタナハシ・コーツの著書は今回で4作目となります。これまでの既刊と異なり、本書は「書くこと」をテーマとしておりますので、「海外事情」「各国事情」といった従来の棚だけでなく、ぜひ「ノンフィクション」の棚での展開もご検討ください。また、同封の既刊特集「ジェームズ・ボールドウィンの再来 タナハシ・コーツ」もぜひご覧いただければ幸いです。 (乙子)

👉 原著者紹介、主要目次、注文書を裏面に掲載! ぜひご確認ください!



【原著者紹介】

タナハシ・コーツ (Ta-Nehisi Coates)

1975年メリーランド州ボルチモア市で生まれる。ハーワード大学(中退)を経てジャーナリズムの世界に入る。2014年の「賠償請求訴訟」(『アトランティック』誌掲載。邦訳は2020年の『僕の大統領は黒人だった』所収)で一躍脚光を浴び、数々の賞を受ける。2015年の『世界と僕のあいだに』で全米図書賞受賞、ピューリッツァー賞および全米批評家協会賞のファイナリスト。トニ・モリソンに「ジェームズ・ボールドウィン亡き後の間隙を埋めた」と評される。2016年「タイム誌の選ぶ世界で最も影響力のある100人」に選出される。『ブラックパンサー』などマーベル・コミックスの原作も手がける。現在ハーワード大学教授。本書で5冊目の著作となる。

【主要目次】

第1章 ジャーナリズムは贅沢ではない

ジャーナリズムや「書くこと」に対する熱意を語り、特に黒人としての経験や政治とのつながりが描かれる。ここで、「書くこと」は単なる技術の問題ではなく、自己表現や解放のための手段として捉えられる。また、言葉が人々に与える力についても言及され、読者に深い感情を呼び起こすような作品作りの重要性が強調される。著者自身の経験や教育を通じて、ジャーナリズムが社会に果たす役割や、歴史的背景から見た黒人の権利のための闘争との関連性が浮き彫りにされる。

第2章 ファラオについて——セネガルを歩く

コーツは、アフリカのダカールへの旅に向かう。そのなかで、自身の生まれ育った環境にあった芸術や革新的なアートからの影響を振り返る。さらにブラックパンサー党員だった父との思い出を交えつつ、アフリカの文化や歴史に対する考えを深めていく。また、黒人のアイデンティティや奴隷貿易の歴史についての議論を通して、彼自身の自己認識と歴史観が語られる。

第3章 燃える十字架を掲げて——サウス・カロライナ州を歩く

代表作『世界と僕のあいだに』が発禁処分となったサウス・カロライナ州コロンビアで、理不尽な暴力が時に現実で勝利するという厳しい教訓を学ぶ。コーツは、暴力が身体的なものだけでなく、社会的抑圧や差別としても広がることを感じ、物語を通じてそれに立ち向かうことを再確認する。彼にとって、書くことは世界を説明することであると同時に、現実逃避の手段でもあった。この経験が彼の作家としての成長や文章に対する洞察力を高め、暴力への批判的視点を養うことにもつながったことが描かれる。

第4章 巨大な夢——パレスチナを歩く

パレスチナへの旅行体験を通じて、歴史的・政治的な問題に対する理解が深まる様子が描かれている。ホロコースト記念館「ヤド・ヴァシム」を訪れることで、歴史的な悲劇の重さを実感し、人類の残酷さと哀しみを思い知らされる。著者はこれらの体験を通じて、過去の悲劇に対する感受性や、未来に向けた希望と和解の必要性について考察し、個人的な経験が普遍的な問題へとつながっていく様子が描かれる。



ご注文は FAX で! 03 - 3451 - 3124



番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
新刊委託		タナハシ・コーツ 著／池田年穂 訳	2,750 円	★★★★ ★★
		なぜ書くのか —パレスチナ、セネガル、南部を歩く ISBN978-4-7664-3040-0 C0098		

★1つで「500部」を表します



著者既刊は、別紙の既刊特集をぜひご確認ください!